

J.LEAGUE™ NEWS

J.LEAGUE YAMAZAKI NABISCO CUP 20th Anniversary



©J.LEAGUE PHOTOS

清水の18歳のルーキー、FW白崎。ヤマザキナビスコカップは若い選手たちにとって貴重なステップアップの舞台だ(予選リーグBグループ第3節、清水vs横浜FM)

熱戦続く2012Jリーグヤマザキナビスコカップ

記念すべき20回目の開催。ピッチ上の熱い戦いとともに、さまざまな企画・イベントも注目

J1所属の全18チームが参加する「2012Jリーグヤマザキナビスコカップ」が、3月20日に開幕した。Jリーグが開幕する前年の1992年に始まったリーグカップ戦で、Jリーグ、天皇杯全日本サッカー選手権大会と並ぶ日本の三大タイトルの一つ。ことしの大会が記念すべき20回目の開催となる。リーグ戦と並行して繰り広げられる試合は興奮と感動にあふれ、さまざまな企画やイベントが大会を盛り上げて、全国のファン・サポーターを楽しませてきた。ピッチ上では、現在進行中の予選リーグから11月3日(土・祝)に国立競技場が舞台となる決勝まで、目を離せない熱戦が続く。(2ページに関連記事)

J.LEAGUE™ TOP PARTNERS

Calbee

Canon

KONAMI

AIDEM

Coca-Cola

McDonald's

J.LEAGUE™ 100 YEAR VISION PARTNER

朝日新聞

J.LEAGUE™ FAIRPLAY PARTNER

東京エレクトロン

LEAGUE CUP SPONSOR

ヤマザキナビスコ

SUPER CUP SPONSOR

FUJI XEROX

J.LEAGUE™ OFFICIAL EQUIPMENT PARTNER

adidas

J.LEAGUE™ OFFICIAL SUPPLIER

Johnson & Johnson

J.LEAGUE™ OFFICIAL BROADCASTING PARTNER

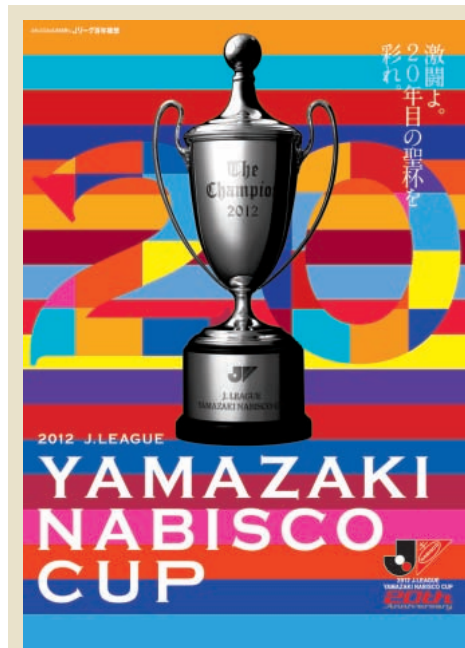
スカパー!

SPORTS PROMOTION PARTNER

TOYO

J.LEAGUE™ OFFICIAL TICKETING PARTNER

ぴあ



大会メインビジュアル

《デザインコンセプト》

Jリーグ開幕の前哨戦として開催された、Jリーグヤマザキナビスコカップ。長い歴史を誇るこの大会も20周年を迎えた。

20年。数多くのヒーローたちが熱いプレーを繰り広げ、その活躍の舞台を世界へと広げ、彼らを支え続けるファン・サポーターとともに日本のサッカーを大きく成長させた歳月。そのような歴史を見守ってきた威厳ある聖杯(ヤマザキナビスコカップ)を中央に配し、その格式と伝統を打ち出した。さらには、J1リーグ全18クラブのクラブカラーが本大会と聖杯を鮮やかに彩り、「激闘よ。20年目の聖杯を彩れ。」というキャッチコピーとともに、20周年ならではの華やかさと、決勝の舞台となる国立競技場と聖杯を目指す戦いの激しさを表現している。



予選リーグAグループで首位に立ったのは2010年優勝の磐田



昨年優勝の鹿島も3戦3勝で予選リーグBグループの首位

国際舞台への道も開ける

「2012 Jリーグヤマザキナビスコカップ」は、3月20日の開幕から早くも熱戦を展開し、4月18日に予選リーグ第3節を終了した。若い選手たちのフレッシュなプレーも大会を盛り上げ、今後の戦いが楽しみだ。

今シーズンはまず、AFCチャンピオンズリーグ2012に参加している柏レイソル、FC東京、名古屋グランパス、ガンバ大阪を除くJ1リーグの14チームを7チームずつ2グループに分け、各グループで1回戦総当たりの予選リーグを行う。決勝トーナメントは、同リーグ各グループ1、2位および、前述の4チームの計8チームにより、ホーム&アウェイ方式で争われる(決勝は1試合制)。決勝トーナメントの組み合わせは、予選リーグ終了後にオープンドローによって決定する。

晴れ舞台の決勝もさることながら、1試合の

比重が非常に大きい予選リーグ、アウェイゲームの得点が重視される準々決勝、準決勝も、手に汗握る緊迫した攻防を展開。こうした厳しい試合を勝ち抜いて栄冠を獲得したチームには、国際舞台への道も開ける。優勝クラブは、南米のコパ・スダメリカーナ優勝クラブと対戦する「スルガ銀行チャンピオンシップ Jリーグヤマザキナビスコカップ/コパ・スダメリカーナ王者決定戦」への出場資格を獲得する。

逸材に期待、楽しみなイベント

ヤマザキナビスコカップといえば、数多くの若い選手がステップアップを遂げてきた大会としても知られている。その象徴ともいえるのが、大会開幕時に23歳以下の選手が対象となる「ニューヒーロー賞」の表彰。予選リーグから準決勝まで、チームに勢いを与えるような顕著な活躍を見せた選手を、報道関係者の投票を基に選考委員会で決定する。歴代の受賞者

はJリーグだけでなく、日本代表や海外のリーグで活躍した選手も多く、今大会も才能あふれる逸材の登場が期待される。

さらにヤマザキナビスコカップを楽しい大会としているのが「ナビスコキッズイレブン クラブ」といっしょにファイナルを目指そう!!のイベントだ。予選リーグから準決勝までの全試合を対象に、各会場に来場した子どもたちにドリブルゲーム、シュートゲームなどにチャレンジしてもらい、応援するクラブと一緒に決勝を目指すという企画。2003年から実施しており、昨年まで延べ13万4500人が参加した。

決勝進出を決めたクラブの試合会場で参加した子どもたちの中から抽選で選ばれた11人(計22人)には、決勝の観戦チケットと、「ナビスコファイナルキッズイレブン」として試合前のスペシャルイベント「ナビスコキッズバトル」(小学生以下)に参加できるビッグチャンスが与えられる。

過去の決勝、決勝MVP、ニューヒーロー賞

開催年	決勝(太字が優勝チーム)		MVP	ニューヒーロー賞
1992	V川崎	1-0 清水	三浦 知良(V川崎)	-
1993	V川崎	2-1 清水	ビスマルク(V川崎)	-
1994	V川崎	2-0 磐田	ビスマルク(V川崎)	-
1995	開催なし			
1996	V川崎	3-3(延長、4PK5) 清水	サントス(清水)	名波 浩(磐田) / 齊藤 俊秀(清水)
1997	磐田	1-2、1-5※ 鹿島	ジョルジーニョ(鹿島)	三浦 淳宏(横浜F)
1998	磐田	4-0 市原	川口 信男(磐田)	高原 直泰(磐田)
1999	柏	2-2(延長、5PK4) 鹿島	渡辺 毅(柏)	佐藤 由紀彦(F東京)
2000	川崎F	0-2 鹿島	中田 浩二(鹿島)	鈴木 隆行(鹿島)
2001	磐田	0-0(延長、1PK3) 横浜FM	榎本 達也(横浜FM)	曾ヶ端 準(鹿島)
2002	鹿島	1-0 浦和	小笠原 満男(鹿島)	坪井 慶介(浦和)
2003	鹿島	0-4 浦和	田中 達也(浦和)	田中 達也(浦和)
2004	F東京	0-0(延長、4PK2) 浦和	土肥 洋一(F東京)	長谷部 誠(浦和)
2005	千葉	0-0(延長、5PK4) G大阪	立石 智紀(千葉)	阿部 勇樹(千葉)
2006	鹿島	0-2 千葉	水野 晃樹(千葉)	谷口 博之(川崎F)
2007	川崎F	0-1 G大阪	安田 理大(G大阪)	安田 理大(G大阪)
2008	大分	2-0 清水	高松 大樹(大分)	金崎 夢生(大分)
2009	F東京	2-0 川崎F	米本 拓司(F東京)	米本 拓司(F東京)
2010	磐田	5-3(延長) 広島	前田 遼一(磐田)	高萩 洋次郎(広島)
2011	浦和	0-1(延長) 鹿島	大迫 勇也(鹿島)	原口 元気(浦和)

※ホーム&アウェイ



「ナビスコキッズイレブン クラブといっしょにファイナルを目指そう!!」に挑戦する子どもたち(札幌ドーム)



ゲーム参加者にはヤマザキナビスコのお菓子がプレゼントされる(ヤマハスタジアム(磐田))



「Jリーグ U-16 チャレンジリーグ」。 こしは3会場で開催



清水 vs 岡山 (時之栖スポーツセンター)



素晴らしい環境のもとで、選手たちは充実した3日間を過ごした(時之栖スポーツセンター)

Jリーグは、2012シーズン入会の2クラブを除く38クラブに所属する16歳以下(1995年4月2日以降生まれ)の選手を対象とした「Jリーグ U-16 チャレンジリーグ」を、スポーツ振興くじ助成を受けて3月17~28日に開催した。こしで3回目となる本大会は、トップレベルの選手を育成するために重要な年代へ試合出場の機会を提供し、個の育成を行うことを目的に実施。これまで、2009年が新潟県、10年が静岡県と1カ所の開催だったが、今回はJ-GREEN堺(大阪府、3月17~18

日)、鹿島ハイツスポーツプラザ(茨城県、3月21~23日)、時之栖スポーツセンター(静岡県、3月24~26日、同26~28日)と3会場で4グループに分けて行った。

参加選手の多くは、高校1年と中学3年。まだ試合出場機会の少ない高校生は貴重な実戦経験を積むことができる場となり、中学生は年長の選手と対戦できるという利点がある。「この時期に多くの実戦ができるのはありがたい。来月にはユースとしての公式試合が始まり、試合に出場できない選手もいる。彼らがこう

して試合を経験し、成長するチャンスを得ることができる」と話したのは、東京ヴェルディユースの菅原智コーチ。この時期は新シーズンを前にしたチームづくりの段階で、選手の実戦経験はもちろん、指導者にとっても貴重な機会といえるだろう。

「初戦で敗れた後、2戦目、3戦目と試合ごとに成長した。本当に(今後が)楽しみになってきた」とアルビレックス新潟ユースの内藤就行コーチが手応えをつかんだように、選手、指導者にとって収穫の多い大会となったに違いない。

Jリーグ U-16 チャレンジリーグ 順位表

大阪 J-GREEN堺 3月17~18日

(大会方式)
・20分ハーフ(ハーフタイム5分)
・7チーム総当たり

順位	チーム	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	京都	14	4	2	0	24	2	+22
2	G大阪	13	4	1	1	12	5	+7
3	大分	12	3	3	0	7	4	+3
4	鳥栖	10	3	1	2	12	9	+3
5	C大阪	6	2	0	4	5	13	-8
6	岐阜	2	0	2	4	3	16	-13
7	鳥取	1	0	1	5	4	18	-14

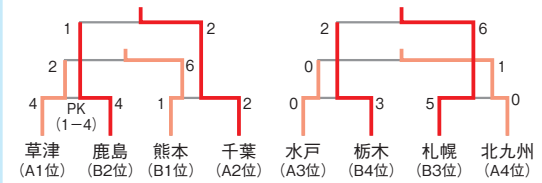
MVP: 中村 文哉(G大阪/FW)

茨城 鹿島ハイツスポーツプラザ 3月21~23日

(大会方式)
・35分ハーフ(ハーフタイム10分)
・8チームをA、Bの2グループに分割
・グループ内総当たりの対戦
・グループの結果でノックアウト方式による対戦を実施

グループA									グループB								
順位	チーム	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差	順位	チーム	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	草津	6	2	0	1	9	4	+5	1	熊本	9	3	0	0	10	4	+6
2	千葉	6	2	0	1	5	3	+2	2	鹿島	6	2	0	1	4	2	+2
3	水戸	3	1	0	2	6	5	+1	3	札幌	3	1	0	2	6	5	+1
4	北九州	3	1	0	2	4	12	-8	4	栃木	0	0	0	3	5	14	-9

上位トーナメント



MVP: 近藤 康人(栃木/FW)

静岡 時之栖スポーツセンター 3月24~26日

(大会方式)
・35分ハーフ(ハーフタイム10分)
・6チームずつA、Bの2グループに分割
・グループ内総当たりの対戦を実施し、各チーム5試合

順位	チーム	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	F東京	10	3	1	1	12	6	+6
2	横浜FM	10	3	1	1	10	5	+5
3	清水	9	3	0	2	8	9	-1
4	岡山	6	2	0	3	4	7	-3
5	大宮	6	2	0	3	3	6	-3
6	仙台	3	1	0	4	7	11	-4

MVP: 齊藤 海(横浜FM/DF)

順位	チーム	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	名古屋	12	4	0	1	17	4	+13
2	柏	8	2	2	1	10	7	+3
2	横浜FC	8	2	2	1	10	7	+3
4	広島	8	2	2	1	8	0	0
5	湘南	6	2	0	3	8	13	-5
6	山形	0	0	0	5	2	16	-14

MVP: 馬野 雅人(横浜FC/DF)

3月26~28日

(大会方式)
・35分ハーフ(ハーフタイム10分)
・6チームと5チームの2グループに分割
・グループ内総当たりの対戦を実施

順位	チーム	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	東京V	13	4	1	0	16	2	+14
2	磐田	12	4	0	1	16	6	+10
3	甲府	9	3	0	2	14	9	+5
4	富山	6	2	0	3	10	16	-6
5	福岡	4	1	1	3	7	12	-5
6	徳島	0	0	0	5	7	25	-18

MVP: 安西 幸輝(東京V/MF)

順位	チーム	勝点	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	神戸	10	3	1	0	16	5	+11
2	浦和	10	3	1	0	9	4	+5
3	新潟	3	1	0	3	6	11	-5
4	愛媛	3	1	0	3	4	9	-5
5	川崎F	3	1	0	3	10	16	-6

MVP: 清川 大輝(浦和/FW)



「2012 Jリーグ U-13、 U-14」も開幕

Jリーグの全40クラブおよび地域クラブ、中学校を含めた第3種チーム所属の選手を対象とした「2012 Jリーグ U-13」「2012 Jリーグ U-14」が、4月14日にスタートした。Jリーグ U-16 チャレンジリーグと同じく、試合出場機会の少ない各年代の選手に実戦経験の場を提供し、個の育成を目的に開催。Jリーグ U-13は2007年、同U-14は08

年に始まり、こしは40のJクラブに加え、地域クラブ、中学校(U-13のみ)第3種チームを含め、計168チーム(U-13/119チーム、U-14/49チーム)が参加する。

大会はポラリス(北海道・東北・北信越)、メトロポリタン(関東)、ボルケーノ(東海)、ヤマトタケル(関西)、サザンクロス(中国・四国・九州)の名を冠した地域ごとに開催。試合時

間はU-13が60分(前後半各30分)、U-14が70分(同35分)で、試合総数は1,184に上る(U-13/844、U-14/340)。2回戦総当たりリーグ戦が基本で、ホーム&アウェイによる戦いは貴重な経験となる。また、優勝の他、MVP賞、得点王の表彰も行われ、優勝シャレーや記念品が授与される。

JリーグとJクラブでは、将来のJリーグ選手、そして世界の舞台を目指す夢を持つ子どもたちの育成のために、今後も年代別のリーグ戦の拡大・充実を図っていく。なお、各大会は12月まで行われる予定。試合日程の詳細は各クラブの公式ホームページを参照。

JリーグファミリーJoinデイズ 開催

Jリーグ20周年記念プロジェクト 劇場版「名探偵コナン」with J.LEAGUE「青山剛昌先生描き下ろし JリーグオリジナルA5クリアファイル」をプレゼント

Jリーグは、4月28日(土)から5月6日(日)までのJ1・J2リーグ戦を対象に開催する、家族で楽しめるイベント満載の「JリーグファミリーJoinデイズ」において、Jリーグ20周年記念プロジェクト劇場版「名探偵コナン」with J.LEAGUE「名探偵コナン 11人目のストライカー」の

公開を記念して、「青山剛昌先生描き下ろし 名探偵コナン JリーグオリジナルA5クリアファイル」をプレゼントする。プレゼント対象者、配布数は各クラブによって異なるため、Jリーグ公式ホームページまたは、各Jクラブ公式ホームページなどで要確認。



「名探偵コナン」の原作者、青山剛昌先生の描き下ろし
©2012 青山剛昌/名探偵コナン製作委員会
©1992 JLEAGUE ©青山剛昌/小学館

おすすめファミリー企画

J1

クラブ名	対象試合	開催日/キックオフ	対戦相手	試合会場	内容	実施時間	プレゼント対象日
札幌	第9節	5月 3日(木祝) 14:00	C大阪	札幌厚別	ファミリーJoin! SAPPORO! サッカー教室~ファミリーで聖地厚別のピッチを体験しよう!~	11:30~12:30	★
仙台	第10節	5月 6日(日) 13:00	清水	ユアスタ	ファミリーでむすび丸&伊達武将隊と遊ぼう!	-	★
鹿島	第10節	5月 6日(日) 19:00	鳥栖	カシマ	アントラースファミリー・絆「お母さんありがとう!!」	16:00~17:00	★
浦和	第9節	5月 3日(木祝) 19:00	横浜FM	埼玉	ハートフルクラブ、レッズレディースとJoin! 「エンジョイ! 親子ハートフルサッカー」	15:00~17:00(予定) ※時間内にご来場いただければいつでも参加可能	★
大宮	第8節	4月28日(土) 16:00	札幌	NACK	ボニーに乗れる! NACK5スタジアム大宮 一日動物園	13:30~16:00(予定)	★
	第10節	5月 6日(日) 16:00	G大阪		「たご家道頓堀くるる」のたご焼がやってくる!	13:30~16:00(予定)	-
柏	第8節	4月28日(土) 14:00	鳥栖	柏	フードでJoin! 家族で食べよう! レイソルグルメ!	開場~ハーフタイム終了	★
F東京	第8節	4月28日(土) 13:00	清水	味スタ	「ファミリーJoinデイズ」~コナンパネルと写真撮影、スタンプラリー、謎解きクイズ、東京ドロンパ劇場、コナンモンを食べてJoin!! ~	9:00~試合終了後30分 (詳細はHPIにてご確認ください。)	★
川崎F	第8節	4月28日(土) 15:00	広島	等々力	イツァスモウワールド	11:30~14:30	★
	第9節	5月 3日(木祝) 15:00	磐田		フロンターレ牧場	11:30~14:30	-
横浜FM	第10節	5月 6日(日) 13:00	札幌	日産ス	トリコロールファミリーDay ~ご家族揃ってトリコロールランドに集合!~	10:00~13:00	★
新潟	第10節	5月 6日(日) 19:00	F東京	東北電ス	家族でスマイル! ファミリーサッカーフェスティバル	13:00~15:00	★
清水	第9節	5月 3日(木祝) 19:00	鹿島	アウスタ	S-FESTA inファミリーJoinデイズ 親子で対決!! エスパルスクイズ 20周年企画! 20がテーマのミニゲームコレクション フェイスベントラリー2012 ほか	14:30~19:00	★
磐田	第10節	5月 6日(日) 16:00	浦和	エコパ	364日早い! こどもの日 J員集合! 「自衛隊がやってくる」	12:00~16:00	★
名古屋	第10節	5月 6日(日) 17:00	川崎F	豊田ス	「移動動物園」がスタジアムにやってくる!	13:00~17:00	★
G大阪	第11節	5月12日(土) 19:00	仙台	万博	家族でJoin ~大人も子どもも楽しもう!~	①15:30~16:00 ②16:30~17:00	★
C大阪	第8節	4月28日(土) 19:00	磐田	金鳥スタ	あの名探偵コナンがキンチョウスタジアムにやってくる! ~家族みんなで最高の思い出作りを~	-	★
	第10節	5月 6日(日) 13:00	神戸		子どもたちに夢を! 「どきどきチャレンジ! セレソ大阪お仕事体験」	-	-
神戸	第9節	5月 3日(木祝) 14:00	大宮	ホームズ	親子でJoin! DILパーク ~名探偵コナンに挑戦~	11:00~13:45	★
広島	第9節	5月 3日(木祝) 16:00	新潟	広島ビ	ファミリーで、ゲーフラを作ろう!	12:00~16:00	★
鳥栖	第9節	5月 3日(木祝) 16:00	仙台	ヘアスタ	ひと足先にロンドンへファミリーでJoinだウイン!	10:00~16:00	★

J2

クラブ名	対象試合	開催日/キックオフ	対戦相手	試合会場	内容	実施時間	プレゼント対象日
山形	第12節	5月 3日(木祝) 13:00	愛媛	NDスタ	ファミリーサッカー教室	10:30~11:30	★
	第13節	5月 6日(日) 18:30	草津		-	-	
水戸	第11節	4月30日(月・休) 13:00	徳島	Ksスタ	-	-	-
	第13節	5月 6日(日) 19:00	東京V		「求む! 名探偵!!」探し物ゲームにファミリーで参加しよう!	未定	★
栃木	第11節	4月30日(月・休) 13:00	鳥取	栃木グ	もうすぐこどもの日! 究(かぶと)制作体験	11:00~13:00	-
	第13節	5月 6日(日) 13:00	福岡		-	-	-
草津	第12節	5月 3日(木祝) 16:00	千葉	正田スタ	親子で挑戦 PK対決!!	14:40~15:10	★
千葉	第13節	5月 6日(日) 16:00	愛媛	フクアリ	GWはフクアリへ! ~家族で笑顔の思い出をつくろう!~	13:30~15:30	★
東京V	第11節	4月30日(月・休) 17:00	山形	味スタ	GWファミリー企画! 親子deサッカー教室&家族de芝かぶりシート体験!	15:00~16:20(予定)	★
町田	第12節	5月 3日(木祝) 19:00	北九州	町田	ゼルビーとバレード ~親子でゼルビーと一緒にスタジアムを盛り上げよう!~	17:30~18:00	★
横浜FC	第11節	4月30日(月・休) 13:00	町田	ニッパ球	2012 横浜FCリキアラ大集合~家族で横浜FC選手・プリキアラ達と記念写真撮影会に参加しよう!~	12:00~12:20(予定)	★
湘南	第11節	5月 3日(木祝) 18:30	甲府	BMWス	芝生の教室 親子で参加! チャレンジラリー(5種目に挑戦!)	試合前	★
甲府	第13節	5月 6日(日) 13:00	京都	中銀スタ	親子サッカー遊びでJoin ~山梨中銀スタジアムのピッチ上で親子でおもいきり遊ぼう!!~	10:00~11:30	★
松本	第11節	4月30日(月・休) 15:00	京都	松本	山雅ファミリーDAY~親子でフェイスペインティング!~	12:30~シールドがなくなり次節終了	★
富山	第13節	5月 6日(日) 13:00	町田	富山	思い出がいっぱい ~親子3世代と一緒に写った写真(紙焼き)持参で家族全員が1,000円で入場!~	10:30~14:30	★
岐阜	第12節	5月 3日(木祝) 19:00	水戸	長良川	スーパーECO・サボマッパ! 家族でエコに取り組もう!	17:00~21:00	★
京都	第12節	5月 3日(木祝) 13:00	栃木	西京極	ファミリー・グループ・みんなで! 大鯉のぼり送り競争	11:00~11:30	★
鳥取	第12節	5月 3日(木祝) 16:00	富山	とリスタ	親子 de エンジョイスタジアム!	-	★
岡山	第11節	4月30日(月・休) 16:00	草津	カンスタ	GWファジ緑日2012 ~GWは家族で楽しもう~	13:00~16:00	-
	第13節	5月 6日(日) 16:00	岐阜		名探偵コナンがやってくる ~GWは家族でコナン~	12:00~16:00(時間は予定)	★
徳島	第12節	5月 3日(木祝) 16:00	松本	鳴門大塚	家族みんなでスタジアムへ行こう! ~名探偵コナンデー~	13:00~16:00(時間は予定)	★
愛媛	第11節	4月30日(月・休) 14:00	湘南	ニスタ	愛媛FCが大好きだ! ファミリーフォトコンテスト!	11:00~14:00	★
福岡	第12節	5月 3日(木祝) 13:00	大分	レベスタ	家族でGO! レベルファイブスタジアム!	10:30(予定)~13:00	★
北九州	第11節	4月30日(月・休) 15:00	千葉	本城	キラ☆サボキッズボランティア	12:00~17:00	★
熊本	第12節	5月 3日(木祝) 13:00	東京V	熊本	家族でスタジアムへGO! ~親子でロアソノくんの似顔絵を描こう!~	12:30~14:00	★
大分	第13節	5月 6日(日) 14:00	鳥取	大銀ド	~家族手Join~ だるまさんがころんだ大会	12:30~12:45(10分程度を予定) ※時間変更の可能性有	★

(2012年4月20日現在。内容についてはJリーグ公式ホームページまたは、各Jクラブホームページなどで要確認。なお、ガンバ大阪はAFCチャンピオンズリーグの影響により、第11節5月12日(土)の開催となる。)



劇場版最新作「名探偵コナン 11人目のストライカー」 4月14日から公開!

Jリーグ20周年を記念し、Jリーグと人気アニメーション「名探偵コナン」がコラボレーションした劇場版最新作「名探偵コナン 11人目のストライカー」が、4月14日から全国東宝系にて公開された。同日には都内で完成披露試写会が開催され、主人公の江戸川コナン役を務める高山みなみさん他のレギュラー声優陣、スポーツ紙のカメラマン役でアニメ声優に初挑戦する女優の桐谷美玲さん、主題歌「ハルウタ」を担当した「いきものがかり」のメンバー、さらに本人役で出演する中村憲剛選手(川崎フロンターレ)らが舞台あいさつを行った。

Jリーグがテーマとなっている作品で、「試合の時より緊張しています」と話した中村選手の他にも、遠藤保仁、今野泰幸(ともにガンバ大阪)、楯崎正剛(名古屋グランパス)、

三浦知良(横浜FC)の各選手が本人役で出演し、名探偵コナンと共演している。また、作中に登場する「東京スピリッツ」のユニフォーム

など限定コラボレーショングッズの販売やコラボイベントの実施など、Jリーグ、Jクラブが全面協力した。



声優を務めた中村選手と大東Jリーグチェアマンも、将来Jリーグ選手を目指す子どもたちとともにステージへ上がった

専門委員会 委員について

専門委員会 一覧			
委員会	委員	委員会	委員
裁定委員会	委員長 堀田 力	マッチコミッショナー委員会	委員長 坂田 信久
	小林 正三郎		副委員長 松浦 敏夫*
	川瀬 隆弘		臼井 郁夫
技術委員会	委員長 上野山 信行		川上 信夫
	委員長 野宮 拓		田中 佳孝
法務委員会	新保 勇一		菊地 秀夫
	上田 慎	委員長 中野 幸夫	
	野村 六彦	木村 正明	
規律委員会	小幡 真一郎	鈴木 秀樹	
	新保 勇一	小森 秀二	
	中西 大介	高取 信行	
		中西 大介	
		マーケティング委員会	

敬称略 *印は新任

昨年引き続き、アジア最大級の短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」とタイアップして『フットボールプログラム』を実施



Jリーグは昨年引き続き「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」(東京都渋谷区/代表:別所哲也)とタイ

アップし、「スポーツの持つ力」を、映像を使って、より多くの人々にお届けする映画プログラム「フットボールプログラム」を実施する。

今回のタイアップでは、フットボールをテーマに全世界から収集した作品を、6月14日(木)~30日(土)の「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」開催期間中に3回上映。「フットボールプログラム」を通じてJリーグが考える「スポーツの持つ力」を、今までとは異なる世界観で多くの人々に伝えていく。

京都サンガF.C. ホームタウン追加について

Jリーグは4月17日に開催した理事会で、京都サンガF.C.がホームタウンを追加し、従来の京都市、宇治市、城陽市、長岡京市、向日市、京田辺市に加えて、2012年4月17日より木津川市も新たにホームタウンとすることを承認した。

実行委員選任について

Jリーグは4月17日に開催した理事会で、モンテディオ山形の実行委員を高橋節氏から佐藤和志(さとう かずし)氏へ変更することを承認した。

実行委員		
クラブ名	変更前	変更後
モンテディオ山形	高橋 節 社団法人 山形県スポーツ振興21世紀協 理 理事長	佐藤 和志 社団法人 山形県スポーツ振興21世紀協 専務理事

敬称略

第62回“社会を明るくする運動”に協力

Jリーグは4月17日に開催した理事会で、昨年引き続き、法務省が主催する第62回“社会を明るくする運動”に告知活動などで協力することを決定した。全ての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人々の更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、2012年7月1日(日)~31日(火)が強調月間となる。

2012年度 地域スポーツ振興活動および介護予防事業への支援を決定

Jリーグは、Jクラブが実施するサッカー以外の地域スポーツ振興活動および介護予防事業に支援を行っており、2012年度の申請分(12年3月15日申請締切)では、25クラブ58件の支援を決定した。各クラブの活動詳細は、Jリーグ公式ホームページを参照。

「アクチュアルプレーイングタイム」を公表

Jリーグは今シーズンより、J1・J2リーグ戦、Jリーグヤマザキナビスコカップの全試合で、「アクチュアルプレーイングタイム」を公表する。試合中にプレーが途切れた時間を除いた実際のプレー時間を示すもので、試合自体の魅力や質の向上を目指すことを目的に今シーズンより発足した「+Qualityプロジェクト」の一環。Jリーグオフィシャルデータサプライヤーのデータスタジアム株式会社がデータを作成し、Jリーグ公式ホームページ内の「+Qualityプロジェクト」特集ページ(開設時期未定)で公表する。

4月17日にはJFAハウスでメディア向け説明会を行い、概要やこれまでの集計などを明らかにした。中西大介 Jリーグ競技・事業統括本部長は「サッカーの魅力や損なう(審判への異議や遅延行為などの)行為を減らすことに重きを置いている」と公表の趣旨について述べ、「実際の試合の印象と、これらの数字にどのような相関があるのかを調べていきたい」と語った。

Jクラブと歩む「地域」「ひと」

23

ヴィッセル神戸



サポーターとの関わりと一体感。 チームの応援が人生を楽しくする



試合後のスタジアム場外にオープンするミサキガーデン。サポーターにとって貴重な憩いの場だ

©ヴィッセル神戸

憩いの空間、交流の場

ヴィッセル神戸のホームスタジアムであるホームズスタジアム神戸。つい先ほどまで熱い声援を送り続けたサポーターたちが向かう先に、「ミサキガーデン」はある。ホームゲームの試合終了後、スタジアム場外で約1時間営業する簡易ビアガーデンだ。屋台で軽食やビール、ソフトドリンクが販売され、あちこちでヴィッセル談義に花が咲く。サポーターにとっては興奮冷めやめうちに試合の話で盛り上がり、観戦の余韻に浸れる憩いの空間。また、アウェイのサポーターと健闘をたたえ合う交流の場所でもある。

ミサキガーデンを運営しているのは、ヴィッセル神戸海岸線地域後援会。スタジアム周辺地域の商店主らが中心となって2003年4月に設立された組織で、地域一体となってヴィッセル神戸を支援している。地域後援会が発足するそもそものきっかけは、2002 FIFAワールドカップ日本／韓国の開催だった。神戸ウイングスタジアム（現ホームズスタジアム神戸）でも試合が行われるため、防犯面の話し合いの場を持った商店主たちはFIFAワールドカップの熱気を肌で感じ、街全体がサッカーに興味を持ち始めていた。

そして、03年にヴィッセル神戸がホームスタジアムを神戸総合運動公園ユニバー記念競技場から神戸ウイングスタジアムへ移すことになり、クラブ側から「地域後援会をつくってもら

えないか」と持ち掛けられた。笠松商店街でそば屋を営む釜須一昭会長はこう振り返る。「この地域はお年寄りが多いし、自分も含めてサッカーのことはあまり知らなかった。でも、商売人として街の活性化につながればという思いだった」。そんな釜須会長も今やヴィッセル神戸のシーズンシートを持つほどの大ファンで、店内の一角には選手のサインや新聞記事が所狭しと飾られている。



釜須一昭氏

ヴィッセル神戸海岸線地域後援会は笠松商店街を中心に約70の商店や企業でスタートした。現在は個人会員も受け入れ、約100軒が入会している。名前は地域内を通る神戸市営地下鉄海岸線にちなんだ。ホームゲームを観戦するだけでなく、通りには応援バナーやタペストリーを掲げ、キャンプへの食事の差し入れやファン感謝デーでの餅つき大会、アウェイの観戦ツアーなど、さまざまなイベントや事業を実施してきた。

優勝して地元でパレードを

年に一度、全選手が参加して住民と一緒にスタジアム周辺の清掃活動もその一つ。「『トモニきれいに!』清掃活動」は、練習グラウンドが遠く、普段は選手が訪れることは少な

いため、年々参加者が増える人気行事となっている。「選手が歩くだけで街が活気づく。こういうイベントをもっとやっていきたい」と釜須会長。また、JRの協力を得て、試合に合わせた和田岬線の臨時便を出してもらい取り組みを2年間実施した。現在は運休中だが、臨時便の復活は、毎年の検討課題としている。

04年から続くミサキガーデンは、「スタジアムで地域が担当する店を出したい」という商店主らの思いと「みんなで乾杯したいけど、大勢で入れる店がない」というサポーターの思いから実現した。メニューは牛すじとこんにやくを甘辛く煮込んだ牛すじこん、電気屋さんが手掛ける餃子、その他に焼きそば、せんべいなどで、夏場はそうめんも登場する。家で仕込み、ハーフタイム中から準備をするため、出店が中止になった雨の日しかほとんど観戦できないが、釜須会長は「サポーターとの関わりもできるし、一体感もできる。みんながいい顔をしてスタジアムを出てくるのが楽しみなんです」と顔をほころぼせる。

地域後援会の活動について、ヴィッセル神戸の芝英幸事業推進部長は「親会社のないヴィッセル神戸は、地域の人々に支えてもらわないと成り立たないクラブ。だから、すごくありがたいと感じている。ホームゲームは年間20試合しかないが、ホームタウン活動は年中無休なので、これからも協力して街を盛り上げていきたい」と語る。

ことは地域後援会の設立から10年目。「心から応援できるチームがあれば人生は楽しい。貴重な経験をさせてもらった」。そう振り返る釜須会長には、思い描く夢がある。「J1で優勝して、地元でパレードをしてほしい。ここからスタートして、三宮に行ってくれたらうれしいね。いつかそういう日が来ると信じている」。

(神戸新聞社 山本 哲志)



昨年9月に行われた清掃活動。選手と住民が一緒になってごみを集めた ©ヴィッセル神戸

「豊かで充実したスポーツ環境を実現し、地域に根差したスポーツクラブを中心に、日本にスポーツ文化を育む」ことを目指す「Jリーグ百年構想」のもと、Jクラブはそれぞれのホームタウンを中心に、さまざまな取り組みを行っている。そして、Jクラブの存在、活動は、地域とそこに暮らす人々に影響、刺激を与え、新たなムーブメントを生んでいる。Jクラブと手を携えながら、ともに歩む人々や、その活動を紹介するこのシリーズ。今号ではヴィッセル神戸、水戸ホーリーホックと連携した地域の取り組みにスポットを当てた。



24

水戸ホーリーホック



クラブを支える枠組みを整備。 サッカー文化を広げて地域に貢献

大震災も乗り越え絆を深める

地域一体となって地元のプロサッカークラブを支援しようと「水戸ホーリーホック・ホームタウン推進協議会」が組織されたのは2002年。クラブは当時、経営難からJリーグ退会の危機に陥ったが、ホームタウン推進協という地元ぐるみの支援体制確立も後押しして、クラブの存続が決まった。

クラブにとっては心強いサポート体制であり、それだけに地元に対する責任も大きくなった。以来、地域のスポーツ文化の盛り上げとファン層の拡充に深い絆を持って取り組んでいる。

「ホーリーホックは、水戸市をはじめとする茨城県中央地域の知名度やイメージの向上に大きく貢献してくれる地域の大切な資源でもある。推進協とクラブの関係を大切に発展させている」と語るのは、推進協会長の高橋靖水戸市長。



高橋靖水戸市長

推進協は現在、水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、東海村の9市町村の範囲で、約300の組織で構成される。東日本大震災で大きな被害を受けた地域であり、沿岸部には津波が押し寄せ、水戸市内にあるホームスタジアム「ケーズデンキスタジアム水戸」も被災した。メインスタンドの修繕工事は秋までかかり、約

半年間使用できなかった。

クラブと選手は、地域に溶け込み、多くの市民と触れ合いながら、震災を乗り越える機運を高めた。選手らは震災直後からボランティアとして支援物資の搬入作業に参加したり、地域イベントや子どもサッカー教室などに積極的に関わった。

「地域の誇り」を全面支援

推進協の代表的な活動の一つが「市町村の日」。ホームゲーム開催時に、推進協を構成するそれぞれの市町村の日を設定し、住民を無料で招待している。当日は観光や物産の紹介ブースなどもスタジアムに設け、地元の魅力を来場者にアピールしている。

「ホーリーホックは県中央地域唯一のプロスポーツチームであり、この地域の誇り。私たちがチームを盛り上げれば、やがて私たち自身に還元される」（高橋市長）という理念のもと、一人でも多くの住民に試合観戦してもらおうと取り組んでいる。

構成市町村のうち水戸市は11年度に、他5市町が12年度にホーリーホックへの出資を決めており、財政的な支援体制も整えた。高橋市長は「民間には民間の、行政には行政の役割があり、連携してできることもある。ホーリーホックを支えていく枠組みは整備された。具体的な仕掛けづくりをこれからさらに進めていく」と話し、ホーリーホックを地域活性化の推進に役立てたい考えだ。



ラッピングバス「ホーリー号」の評判も上々

ラッピングバス「ホーリー号」

2月28日、ラッピングバス「ホーリー号」がお目見えした。車体全体をクラブカラーの青を基調にデザイン。クラブ名のロゴやマスコット「ホーリーくん」が大きくあしらわれている。

このバスの運行を始めたのは、水戸市内に本社を置く茨城交通。任田正史社長は「まずはホーリーホックの存在を市民にもっと知ってもらい関心を持ってもらうのが狙い」と導入の動機を語る。

普段は路線バスとして水戸市内を毎日走り、ホームゲームのあるときは、水戸駅とスタジアムを結ぶシャトルバスとして運行されている。町中で初めて見たファン・サポーターや学生たちからは「カッコいい」「乗ってみたい」と声が上がると、評判も上々のようだ。

もともと2年前前から路線バス内にステッカーなどで応援メッセージや試合の開催告知を掲示してファン層の拡大に一役買っていた。

ホーリー号の運行に加え、今後は主催するアウェイゲームツアーの様子をウェブで紹介したり、選手の声でシャトルバスの音声案内を流すなど、さまざまなアイデアでホーリーホックの応援体制を盛り上げていくという。

「実際にスタジアムで応援すると楽しさや素晴らしさが分かる。その手助けができればと思っている。応援が盛り上がりれば選手にも伝わって成績も良くなるだろう。ホームゲームは毎回青いユニフォームでスタジアムが埋め尽くされる光景を思い浮かべている」と任田社長。この地域にサッカー文化という核をつくり、その裾野を広げていくことで地域に役立ちたいとしている。



任田正史氏



被災地の一つ、北茨城市で開催したサッカー教室。クラブと選手が子どもたちとの絆を深めた

©水戸ホーリーホック

(共同通信社 鶴見 正昭)



Jリーグトップパートナー主催イベント

Jリーグの理念に共鳴し、Jリーグを支え、豊かなスポーツ文化の創造に貢献するJリーグトップパートナー。春休みの期間を中心に、それぞれの企業が特色を生かしたイベントを開催し、Jリーグ、Jクラブが協力した。



キヤノン Jリーグミュージアム 2012 in 品川 ～Jリーグ20年目の開幕 その先の未来へ～

今シーズンの開幕戦などの写真パネルを展示。大東チェアマン(右)も視察した

3月19日から4月7日まで、Jリーグトップパートナーのキヤノンマーケティングジャパン株式会社が主催し、Jリーグが協力した写真展「キヤノン Jリーグミュージアム 2012 in 品川～Jリーグ20年目の開幕 その先の未来へ～」が、キヤノンSタワー2階のオープンギャラリー(品川)で開催された。

本写真展は、大阪、名古屋での開催を含めて14回目。Jリーグオフィシャルフォトグラファーの撮影による100点以上の迫力あふれる写真を展示し、Jリーグで繰り広げられる筋書きのないドラマを再現した。Jリーグの20年目の開幕を記念した今回は、2012シーズンのJ1・J2全開幕カード、次代を担うと期待される若手選手の写真の他、Jリーグ全40クラブを代表した選手たちが未来に向けて夢や願いを込めた直筆ドリームメッセージが写真とともに展示された。

また、写真の展示以外にも、キヤノンのデジタルカメラやプリンターを使用し、会場で撮影した写真に手書きのメッセージを添えて、応援する選手やクラブに送ることができる「Jリーグドリームメッセージ」、クラブエンブレムやマスコットをあしらったエコバッグ(先着500人にプレゼント)といったオリジナルアイテムがその場で作成できる「ピクサス・Jリーグプリントスタジアム」など、楽しいコーナーが人気を集めた。その他、審判員などが使用するJリーグのオフィシャルアイテム展示、Jクラブの試合前集合写真パネルや今シーズンのJリーグで使用された公式試合球などが当たるアンケートも行われた。



キヤノンのプリンターを使ってJ1クラブのロゴ入りアイテムが作れるコーナーも人気



Jリーグで審判が使用するユニフォームやホイッスル、フラッグなども展示された



アイテムしごと探検隊

「次の目標は監督になること。試合などを見て一生懸命、勉強している」と三浦氏

Jリーグトップパートナーの株式会社アイデムが開催する恒例の「アイテムしごと探検隊」が、3月26日に東京のJFAハウス、同28日にガンバ大阪で行われた。春休みを利用して、小学生が「仕事」の現場を訪問・見学。働いている人々から話を聞いたりすることを通じて、「仕事、働くこと」について考えるきっかけづくりを目的に開催されている。Jリーグは2007年から協力を行っており、Jクラブ訪問は初の試み。

JFAハウスでは、4月から小学5、6年となる関東地方の男女20人が参加。Jリーグの試合中継のプロデューサー、サッカーを中心にスポーツ報道に携わる新聞記者、FIFAワールドカップやJリーグの審判経験者、そして元Jリーグ選手の三浦淳寛氏から、それぞれの仕事の様子、大切なことや心構えなどを聞いた。三浦氏は自らの選手生活を振り返り、「感謝の気持ち、考えることが大事」と語り、Jリーグの大東和美チェアマンは、これらの話を「参考にして、自分がやりたいことに役立ててください」と締めくくった。

その後、JFAハウス内のJリーグオフィスやJリーグ関連会社を訪問。チェアマン室も見学するという貴重な体験を積み、最後に日本サッカーミュージアムを見学した。

アイデムへ移動した子どもたちは、1日の体験を通じて相互の意見交換を行い、取り組んだ課題の成果をまとめた。その様子は、株式会社アイデムが毎週発行している求人フリーペーパー「ジョブアイデム」に掲載された。



チェアマン室を見学に来た子どもたちにJリーグの理念を解説する大東チェアマン



G大阪では元Jリーグ選手の本並健治氏から話を聞く。Jクラブでの開催は初めて

